

【東広島市におけるGIGAスクール構想の目標】
 Society 5.0時代を生きる東広島の子どもの可能性を引き出す
 個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

めざす子どもの姿

現実の社会で行われているような方法で、**日常的に**デジタル機器を適切に用いている。

めざす教員の姿

「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、**ねらいをもって効果的に**デジタル機器を用いている。

【学習履歴を活用した個別最適な学びの推進】

- 学習eポータルとデジタルドリルの活用推進
- ICTリーディングエリア(機松中学校区)の取組発信・普及
- ※学習履歴を活用しやすい環境の構築

本年度の取組

【協働的な学びの充実に資する学習機会の創出】

- 遠隔教育の充実
 - ※広域交流型オンライン学習・オンライン社会見学
 - 海外との遠隔交流・専門家による遠隔授業等
- オンラインルームの整備
 - ※整備校の特色ある教育活動の推進

【R6年度の成果】ICT機器の活用力向上(小:+15.7、中:+10.7)

⇒R7年度 **授業における1人1台端末活用の日常化 週3回以上(ほぼ毎日含む)**

R6 小学校 76.8% 中学校 68.2%

R7目標90% ⇒ R10目標100%

【令和6年度学校教育レベルアッププランアンケート結果】

授業で、1人1台端末を、どの程度使っていますか。

ほぼ毎日 週3回以上 週1回以上 月1回以上 月1回未満



【推進に係る取組】

【教員のICT活用能力の向上に資する取組】

- ①Let's Try GIGA 授業
 - 授業参観・協議及び講義・演習型研修
- ②ICT活用推進研修(学校訪問型)
 - ICT支援員の定期巡回強化による支援
- ③オンデマンド型研修教材の作成
 - 各種アプリ等の使い方に係る研修用動画

【児童生徒のICT活用能力の向上に資する取組】

- ①ICT作品コンペ
 - デジタルアート、プログラミング、プレゼンテーション
- ②タイピング大会
 - ローマ字(124入力以上/分)で基準クリア

【情報教育に係る系統表例】

活動	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
調べる	●身近なものの情報を収集する(書籍・体験の重視) ●教科書二次元コードを活用する	●検索ワードを変えながら検索サイトを活用する ●フリタニカを活用する ●引用のルールを知る	●情報の収集と検証方法を知る ●Googleフォームを活用して情報を集める ●児童用デジタル教科書を使う	●情報の妥当性や信頼性を吟味する ●Googleフォームを作成して情報を集める ●生徒用デジタル教科書を使う
記録する	●植物等の撮影をする ●写真等のファイル名を変更する	●人物等を撮影する ●名前を付けて、フォルダを作成することができる	●Googleドライブを活用する(フォルダ作成、名前変更、移動)	●Googleドライブ等を活用し、データを管理する(共有設定の管理)
表現する	●大型画面を指し示したり書き込んだりしながら表現する ●ピクチャーキッズでお絵描きをする ●デジペンで作品を作る ●選択式のGoogleフォームに回答する ●手書き入力やフリック入力を体験する	●大型画面にタブレット画面を映すことができる ●アプリを活用して新聞やポスター等を作る ●Googleフォームに回答する ●1分間に73字以上をローマ字入力する	●アプリを活用して表やグラフを作る ●アニメーションや画像・動画、表・グラフを活用してスライドや文書を作る ●アプリを活用してプログラミングをする ●1分間に124字以上をローマ字入力する	●1分間に175以上をローマ字入力する
つながる	●Googleクラスルームに参加し、投稿を閲覧する ●Googleミートに参加することができる	●Googleストリーム機能を活用する ●Googleクラスルームにファイルをアップロードする	●共同編集機能を活用し、スライドや文書を作る	●データの共有設定を変更し、目的に応じて共同編集をする
活用アプリ例	カメラ ピクチャーキッズ デジペンキッズ Google Classroom	Google PowerPoint Canva フリタニカ Word Excel Scratch	Word Excel Scratch	Googleドライブ Forms
情報モラル指導内容例	●人の作ったものを大切に ●約束やまもりを守る ●大人と一緒に使い、危険に近づかない	●情報をやり取りする際のルールやマナーを知り、守る ●危険に出合ったときに、適切に対応する ●個人情報をもたさない ●健康のため、利用時間を決め、守る	●他人や社会への影響を考えて行動する ●情報にも自他の権利があることを知り、尊重する ●情報の破壊や流出を守る方法を知る ●契約行為の意味を知る	●情報社会における責任や義務について考え、行動する ●肖像権や著作権等を尊重する ●トラブルに遭遇した際、主体的に解決を図る ●情報の信頼性を吟味する ●ネットワークの公共性を意識して行動する